

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月20日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	人	人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・初期支援の戸惑いをなくすべく、手元にある情報でどのような支援が出来るかを想像しながらミーティング等で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・急な受け入れ時以外は、しっかりと情報共有出来ていた。・今後も事前のミーティングを継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		6			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	4			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	4			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ミーティングで事前に情報共有出来ていた。・不愉快にさせないように声かけが出来た。・わからないことがあれば、すぐに聞きことに気を付けている。・新しい情報はなるべく記録するようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・家族の不安を取り除くための、スタッフの知識不足がありお伝えすることが出来なかった。・自分の声かけで不愉快な思いにさせてしまったため、・初期のサービスするにあたり、配慮が足りず利用者を戸惑わせてしまった。・初回時に、どのような関りの必要があるか、それぞれに確認し共有出来ていなかった。・新しい利用者に関しては、情報の変更が激しく各スタッフが記録等で確認出来ていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ひびきオリジナルの初回支援時に対しての、知りたいシートを作成し利用者・スタッフの不安を取り除いていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月20日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	人	6人

前回の改善計画
・ケアプランに対しての意識が低い職員も多いため、ケアプラン更新時には会議等を設けスタッフも一緒に支援内容を決めていく。一緒に考える事で、ケアプランに対しての意識づけをはかる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・更新時には、評価表を作成しスタッフに評価してもらっている。評価することでケアプラン内容を再確認できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	4		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2	4		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	3		6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・作成するときには、「～したい。」を実現するために利用者から引き出し作成に気を付けている。 ・関わった内容を記録に残し、他スタッフの記録も確認しながら情報収集に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・1人1人のケアプランを把握できていない。ケアプランを忘れてしまう。 ・ゴールが分かっておらず、日々の関りが出来ていない。 ・ケアプランに沿って関りが出来ているかと言われたら出来ていない。 ・認知症の方で 意思表示が難しい場合の、目標やゴールはこれで良いのか、本人の思いに繋がる様な統一した支援になっているか不安になる時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・大切にしていることは何か、どのように過ごして行きたいのか、楽しみにしていることは何かといった、本人の思いを把握し、職員間で共有しその思いの実現を目指して取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月20日

3. 日常生活の支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	人	人	6人

前回の改善計画	<p>・なかなか以前の暮らしが把握できない・普段の会話からどのように引き出して良いのかわからないと感じる職員もいた。まず、なぜ『以前の暮らし』を知る必要があるのかを理解し、アセスメントシートを使用しながら利用者の事を理解し、課題を分析しみつめていきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・以前の暮らしを把握することの大切さは、会議等で伝えた。アセスメントシートを使用しながら課題分析し、それに向けての支援が出来た。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	1	3		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	3	1		6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		5	1		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	4			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	3	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ミーティングで情報交換、共有出来ており支援内容の見直しも適時できている。</p> <p>・その時の体調に合わせた介助ができている。</p> <p>・サービス提供時において、いつもと様子が違うと感じた時は、管理者・ケアマネに報告するとともに、他スタッフとも共有している。</p> <p>・「以前の暮らし方」について情報を収集することが出来、それらをもとに食事・入浴等の基礎的な支援が出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・コミュニケーションが取りにくい方については、本人を理解することが難しい。</p> <p>・本人の状況が変化しても、これまでと変わらない方法で支援していることがあった。</p> <p>・記録にのこっておらず上手く共有できていないと感じるときもある。大事なことも後で知ること多々あった。</p> <p>・残存能力を生かすための更なる取り組みができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・本人の気持ちや言葉・表現の背景にあるものを受け止め「その人らしさ」を大切にしたい関わりをする。</p> <p>・できること、できていることを活かした支援に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月20日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	2人	人	6人

前回の改善計画	・地区外でもまだまだ把握できていない資源があり、関わりを持ちながら人的関係も構築していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・そもそも資源がどういったものなのか分からない職員もいた。 ・スタッフも地域のシルバー喫茶へ出向き、地域との関わりを持つこと出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	2	2		
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	2	2		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	2		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	2	1	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・送迎時の家族との会話の中からも自宅での過ごし方についてある程度把握することできている。 ・家族との連携を重視して常に本人と家族(介護者)の関係が切れないように支援している。 ・地域での行事等には、施設から参加したり個人でも参加できるように支援している。 ・地区社協、民生委員等と連絡を取り合い、本人に必要な資源をケアプランに盛り込むことが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・自宅での生活、活動がわかりにくく、家族からの情報も少ない時がある。 ・少しずつ、地域外の民生委員など知ること出来ているが、まだまだ分からない部分もある。 ・個人がどのような地域資源を利用しているのか、すべてを把握できていない。 ・本人が関りを望んでいても、離れて暮らす家族の理解が得られないケースに対して上手く対応できない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・民生委員の働きや社会資源についての勉強会をする。資源を学んだうえで、利用者がどのような資源を活用しているか知っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月20日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 濱崎、山下、東、高島、鳶田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	人	人	6人

前回の改善計画
・柔軟な支援についてはほとんどの職員が出来ていると感じている。今後もニーズに合わせた支援が出来るように毎日の記録に合わせ、口頭での申し送りで情報共有を強化していきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
・引き続き、情報共有を徹底し利用者一人一人に合った支援が出来るようにしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	2		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	5			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	5			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		6			6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の不安や不快が少しでも軽減するように、その時々に合わせて言葉を変えたり、場面を切り替えたりしている。
・悪天候時、体調に不安な時に本人や家族と相談し、宿泊サービスを提供することができた。
・通所を休む時は、訪問に切り替え対応している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・スタッフ不足で緊急な宿泊(特に週末)に対応できるか不安に思う事もある。
・報・連・相がお互いに不足、最後までしっかり対応できず支援が中途半端になる事もあった。
・本人の変化に対する認識や視点がバラバラで記録として残ってないこともあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・どういった視点での観察が重要なのか、迷った職員にはその都度伝えていく。
・スタッフ間の申し送りを徹底し、最後までしっかりと支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月20日

6. 連携・協働

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	4人	人	6人

前回の改善計画	・新型コロナウイルスの影響は今後も続く予想される。その中でどのような取り組みが出来るかをその都度考えていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地元の園児が慰問に来られ、できる範囲での交流ができた。 ・なかなかスタッフで話し合う機会が持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	3		6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	1	2	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	3	1	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	3	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・町内のシルバー喫茶に参加することでできている。その際、一緒にスタッフも行くことで自治会に顔を知ってもらい、相談しやすい環境づくりにつながっている。 ・主に、会議等は管理者やケアマネが参加している。その時話し合った内容は、書面に残し他スタッフにも共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・やはりコロナの影響が大きく、なかなかコロナ禍前のような交流は難しい。高齢者施設では特に難しいと感じている。 ・地域の活動・イベント自体もなかなか再開されない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・サービス機関の会議、運営推進会議は一般職員もなるべく参加し交流を深めて、内容を把握できるようにする。特にサービス機関との関係はケアマネ中心だが、担当職員も参加し内容を把握する。また、事業所は地域の相談窓口として、気軽に誰でも訪れてもらえるよう環境づくりに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月20日

7. 運営

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・“事業所のあり方”について、まずは普段の業務の中から小さい意見でも職員会議または面談等を活用し言いやすい環境を整えていきたい。また、地域にとってどのような事業所になっているか、取り組みが意味のあるものなのかを再確認しながら取り組んでいきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・なかなか、話し合う時間がもてなかったが、会議等で発言できる場を作った。・「なにかあった時のひびきさんや。」と地域の方から話しがあった。頼られる施設でありたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	2	2		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	1		6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	2		6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		4	2		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・不定期ではあるが、広報誌を発行し事業所の様子や活動を発信できた。・利用者、家族からの意見等があった場合は、「ケース」に記録し、共有している。その後の対応については管理者やケアマネが対応している。・ミーティングや面談で自分の意見を言うことできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナで行事などが中止になって地域と協働した取り組みに参加できていない。・家族から、運営に対する意見があったものの今すぐに反映できるものではないため対応できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地域活動再開時には参加し、地域の一員としての役割を担う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者以外の職員も地域の意見や課題を直接知ることも必要と考える。そのような機会をもてるように地域の連絡会にも他の職員も参加できるようにしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員不足もあり、管理者以外の職員が参加する機会が持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		4	2		6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3		6
③	地域連絡会に参加していますか		1	3	2	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	3	2		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・会議等でリスクマネジメントについて話し合い、共有し、改善に取り組み、振り返りを行っている。 ・ヒヤリハット、事故報告書を速やかに提出し、全スタッフで共有している。 ・今年度は、リスクマネジメント委員会を立ち上げ、報告書の様式の見直しやマニュアルの作成などに取り組むことできた。 ・リスクを想定しながら業務にあたるように取り組んでいる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を企画するも実施できていない。 ・人員不足もあり、管理者以外のスタッフが連絡会等に参加することができなかった。 ・対策していたにも関わらず、同じようなヒヤリハットが発生してしまった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントに対する対策、検証、振り返りを行い、リスク回避を行っていく。 ・内部の勉強会から何事にも全職員が意識を共有し、統一した考え方で対応が取れるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日

9. 人権・プライバシー

メンバー 濱崎、山下、東、高島、畠田、堀川、近村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	人	6人

前回の改善計画
・拘束、虐待に関しては、毎日のケアの中でスタッフ1人1人が意識し取り組んでいる。引き続き研修等をし、維持していきたい。 成年後見制度について理解を深める勉強会を実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・成年後見制度について勉強会が出来なかった。 ・引き続き、拘束・虐待についてそれぞれが意識し業務に取り組んでいきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	1	4	1		6
②	虐待は行われていない	4	2			6
③	プライバシーが守られている		6			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1		6
⑤	適正な個人情報の管理ができている		6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・センサーマットを使用する際にも必要性を確認、利用者の安全を考え職員間で話し合いをきちんと持ち、拘束や虐待にならないよう取り組んだ。 ・利用者への安全、安楽、快適に過ごしてもらうよう介護に当たり、プライバシー保護に努めた。 ・自分の言葉遣いや態度が相手に対し虐待になっていないか考えながら行動している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者同士が知り合いのために、お互いの話を伝えてしまったことがある。 ・日々の利用者への声掛けや介護の中でこれはグレイゾーンではないか、と感じたことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・定期的に研修を行い、ケアや個人情報の取り扱いについて振り返りをする。 ・気になった言動が見られた際は、その都度職員間で話し合いを行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 国見慈光会	代表者	出見敏枝	法人・ 事業所 の特徴	福井市の国見地区は人口 1100 人程度、高齢化率は 41%と小さい地域で、高齢化の割合が非常に多い地域である。登録利用者の 7 割は国見地区の利用者である。地域との結びつきが非常に強い事業所である。その為、利用者さ同士古くからの知り合いであることも多く、サロンのような雰囲気に近い。また風光明媚な場所に立地しており、豊かな自然の中で、家庭的な温かさを大切にしている。食事は、冷凍食品などはほとんど使用せず、旬のものを取り入れ手作りしている。その為、細かいニーズに柔軟に対応できることが強みである。なじみの地域で認知症煮や障害を持っても、その人らしい生活が継続できるよう職員全員で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム ひびきの家	管理者	濱崎由佳里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	2人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後は専門的な知識を学ぶ機会も設け、より柔軟に対応・支援が行えるようにしていきたい。	新型コロナウイルスの影響もあり、勉強会の時間があまり取れなかった。	課題は多く難しい事も多いが、今年はこちらが出来たというように一歩ずつ改善していけば良いのではないのでしょうか。	研修会や会議へ積極的に参加していきます。インターネットなども活用し、学ぶ機会を設けていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、利用者の方々が心地よく過ごしてもらえるような空間・環境づくりを考えていきたい。	プランターに花を植えたり、畑で作物を育てたり、事業所内でも心地よく過ごせる環境づくりを行った。	事業所内外は清潔を感じます。活動状況を工夫し、発信することにより、近隣住民から見れば事業所が身近な存在となり、また職員の皆さんも近隣住民との信頼関係が構築されるものとおもいます。	事業所周辺の清掃活動、事業所内の衛生管理・環境整備を心がけ、清潔で居心地の良い事業所作りをします。
C. 事業所と地域のかかわり	来年こそは広報誌 SNS を積極的に使用し普段の活動を発信していきたい。引き続き、シルバー喫茶への参加もしていきたい。地域にどのような資源があるのかをもっと深く知っていく。	不定期だが広報誌を発行することでできた。シルバー喫茶への参加についても今後も継続する。資源について学ぶ機会なく、今後は勉強会を実施し、資源について学んでいきたい。	今後も継続し、事業所の活動等を発信してってください。これからは地域行事なども再開し地域に出向く機会も増やしていけるだろうと思います。	可能な限り、地域主催の行事や事業所連絡会議等には参加します。参加が難しい職員には資料を回覧し、全員が把握できるようにします。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルス感染症状況を見極めて、利用者がその人の住んでいる地域での行事が開催された時には、参加できるよう支援する。	コロナ予防対策をしながら、近所の散歩、馴染みのみせでの買い物や散髪に行き、関係が途切れないよう取り組んだ。新たに、地域の民生委員の方と連携を図れるようになった。	利用者が、地域のどのようなことに興味を持っているのか、その声を拾い出して地域との関わりに繋げてほしい。	事業所地区(町内)との連携に努めると共に、地区外の利用者の方は担当民生委員・近隣の方との連携が持てるように努めていきます。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域の困りごとを把握し事業所内でも情報を共有し、相談が必要な事例は会議にて対応を検討していきたい。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、文書による報告が主になり話し合う機会があまり持てなかった。次年度は情勢を見ながら従来の集合会議を目指す。</p>	<p>コロナ禍で、会議が書面開催になったり、十分な話し合いを行うことは難しかったように思う。</p>	<p>運営推進会議には職員が交代で参加し、発言の機会を設けていきます。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>介護施設だけではなく災害時に避難所としてどのように使える事が出来るかを広報していきたい。</p>	<p>福祉避難所としての利用はなかった。広報活動も上手くすることが出来なかった。</p>	<p>コロナ禍で、地域の方を交えた活動はできなかった。事業所内で十分な活動は行っていると思うが、地域の方との協力体制を作っていく為にも、どのような活動を行っているのか、災害時にどのような対策が必要なのか、知って頂く配慮は必要だと思う。</p>	<p>前回出来なかった避難所としての役割を HP や広報紙を利活用し、広報していきたい。 災害や感染症発生時における事業計画についてマニュアル作成・研修お行い、平時より対応できるよう備えます。</p>

